



## 救急医療についてのお願い



現在、全国的に医師や看護師の不足が叫ばれています。その中であって、山陽小野田市は、地方の市としては比較的恵まれている方であり、この状態を維持・向上していく必要があります。

市内の各病院や診療所は、救急患者に対して可能な限り最善を尽くして救急医療にあたります。しかしながら、医療従事者は昼間の通常業務に追われ、とても夜間や休日に専門的な診療ができる体制にないのが実情です。市内には、救急医療の専門医はいないため、あらゆる診療科の医師が昼間の業務の延長として、順番に当番医になって救急医療に対応しています。したがって、病状によっては、的確に診療することが難しいことがあります。特に、休日や夜間の場合には、体制が十分でなく、検査などが始まるまでに時間がかかることがあります。また、当番医（当直医）では、判断しかねる場合や、専門医が不在の場合には、他院を紹介させていただくこともあります。

医師は、常に最善の努力を尽くしていますが、それにも限界があります。専門外の診療は、とても難しく、心理的にも緊張を伴うものなのです。

近年は、さほど深刻な病状ではないにもかかわらず、夜間に救急室を訪れ、または救急車で来院し、専門医の診察と高度な検査を当然のごとく要求されることがあります。当番医はその応対に苦慮し、悩まされています。そのような事例が重なると、当番医の意欲・気力・体力が萎えてきます。そのようなことが原因で、他の地域では医師の立ち去りが起り、昼間の診療もできなくなっています。

救急医療については、市民のみなさんに温かく見守っていただき、できれば共に支えていただくことが、医療従事者の活力を促す方策であると思います。

真の意味での救急医療の充実は、病院と診療所の努力だけでなく、市民のみなさんのご理解、ご支援無くしては成り立たないのです。よろしくご高配をお願いいたします。

(病院事業管理者 河合 伸也)

### 高校生 1日看護体験者を募集します

市民病院では、看護職への理解と関心を高めていただき、将来の職業選択のきっかけづくりのお手伝いを目的に「看護の日」の記念行事の一環として、「1日看護体験」を開催します。

- 対象 高校生（男子学生も可）
- とき 7月22日(水) 8:30～13:30
- ところ 山陽小野田市民病院
- 募集人数 8人（先着順）※電話で申し込んでください。
- 申込期限 7月3日(金)
- 問い合わせ・申込先 山陽小野田市民病院地域医療連携室 (☎ 83-2355)



### 看護師を募集します



- 対象 看護師または准看護師免許を有する人
- ※その他詳細は、面談のうえ決定しますので、下記までお問い合わせください。
- 問い合わせ先 山陽小野田市病院局総務課庶務係 (☎ 83-2355)